

配当年次・単位・授業形態	1年次	開講期	後期	選択	1単位	講義
授業科目（英名）	患者学（Study of Patients with the Illness）					
担当教員名	◎尾崎 美恵子〔専任〕 鈴木 浩美〔専任〕 飯塚 ちひろ〔専任〕					（◎は科目責任者）
<p>〔授業の概要〕 この授業は、病気を持つ当事者の方から講義をして頂く。講義者は病があり、がん、難病、障害のある方、患者会を支える方などです。病を持つ人の内省の言葉、病みの軌跡、医療者とのかかわり、今ある自身の心の中、生きることを語ってもらいます。 本科目は、当事者の方の語りを聴き、看護職を志す者として自身がめざす看護師像を考えるための初学的な学習の一つになります。</p>						
<p>〔到達目標〕 1) 病気を持つ当事者の内省の言葉の意味を理解する 2) 患者の身体機能の変化に伴う生活への影響について理解できる 3) 医療者としての基本的な接し方について理解できる 4) 患者の取り巻く医療環境について理解できる 5) 患者会の目標・活動について理解できる 6) 患者のサポートに必要な医療人について理解できる 7) 病気を持つ当事者の語りを聴き、看護を志すものとしての自身の考えが持てる 以上の7項目を目標とします。</p>						
回	授業計画	授業外学習（事前学習・事後学習）			担当者	
1	<p>授業ガイダンス</p> <p>①「患者の語りを聴く意味について」 ②「パーキンソン病について」事前学習する</p>	<p>事前学習（90分）：シラバスの確認をして必要な資料を事前に収集する。 事後学習（90分）：講義内容をレポートにまとめる。</p>			<p>この科目はすべて、尾崎・鈴木・飯塚の3名と、ゲストスピーカーで担当します。</p>	
2	<p>当事者の講義1：患者と介護者「パーキンソン病との戦い」 パーキンソン病と生活史の軌跡、病気との向き合い 障害をもったことからみえてきたこと、医療者とのかかわり質疑応答</p>	<p>事前学習（90分）：パーキンソン病の病態、治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：講義内容をレポートにまとめる。</p>				
3	<p>当事者理解1：前回講義のレポートを基にグループワーク ①難病「ALS」の事前学習をもとに理解を深める</p>	<p>事前学習（90分）：難病「ALS」病態、治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：グループワーク後ノートをまとめる。</p>				
4	<p>当事者の講義2：難病「ALS」・・・命・治療・生活の中で見えるもの 患者会と自身、地域の中で生きること 質疑応答</p>	<p>事前学習（90分）：難病「ALS」病態、治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：講義内容をレポートにまとめる。</p>				
5	<p>当事者理解2：前回講義のレポートを基にグループワーク ①「認知症の病態・治療・介護」の事前学習をもとに理解を深める</p>	<p>事前学習（90分）：認知症の病態治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：グループワーク後ノートをまとめる。</p>				
6	<p>当事者の講義3：認知症と共に生きる当事者の思い 質疑応答</p>	<p>事前学習（90分）：認知症の病態治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：講義内容をレポートにまとめる。</p>				
7	<p>当事者理解3：前回講義のレポートを基にグループワーク ①「がん」とは②「がんと治療」③「がん性疼痛」の事前学習をもとに理解を深める</p>	<p>事前学習（90分）：がんの病態治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：グループワーク後ノートをまとめる。</p>				
8	<p>当事者の講義4：病みと痛みの中で見えるもの「病と私」 質疑応答</p>	<p>事前学習（90分）：がんの病態治療、看護について調べ、ノートにまとめる 事後学習（90分）：講義内容をレポートにまとめる。</p>				
成績評価と基準	学修の意欲を把握するものとしてフィードバックシート30%、レポート等の提出物40%、最終レポート30%とします。					
履修上の注意	<p>本科目は本学の教育方針であるホスピタリティ教育の一環であり、病を持つ当事者の方や家族の方を講師として招き、講義をしていただくことを主としています。 講義は、身体状況により中断または講師の変更をすることもあります。 看護職を目指す者としての受講態度として、誠実で主体的に学ぶ姿勢をもち、倫理的配慮をすることができることを評価に反映することとします。 ユニグループを使用し、出席管理を行いません。</p>					
全学年を通しての関連科目	ホスピタリティ論、基礎ゼミナール、看護学概論、看護とコミュニケーション、看護とホスピタリティⅠの科目に関連し、人間の理解や看護の基盤となる患者の立場に立つこと、患者と看護師関係について、看護とは何かについて考えます。					
〔ディプロマポリシーとの関連〕	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの1.2.8と関連しています。					
教科書						
参考書・参考資料等	授業中に適宜紹介します。					
オフィスアワー	<p>尾崎美恵子 金（16：00～17：00） 鈴木浩美 水（16：00～17：00） 飯塚ちひろ 木（16：00～17：00）</p>					